

「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向けて（魅力・交流・文化分野）事業評価一覧（令和元年度に実施した事業）

事業名	政策の柱 — 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
宇都宮ブランド戦略の推進	IV-13	1都市ブランド戦略の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	本市の魅力や認知度の向上による、市民の誇りや市外からの憧れの獲得	市・内外の人、企業等	「ブランド・メッセージ」を基に本市の魅力を発信	計画 どおり	55,864	H20	先駆的	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】：宇都宮の情報に触れる機会の創出、事業パートナーとの関係性の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内最大規模のメディア向け情報配信サイト等を活用し幅広く情報発信を行った結果、メディア(新聞、テレビ、ウェブ)への露出は前年比1.4倍になるなど確実に増えた。一方、東京圏イベント時のアンケートでは、本市の魅力を2つ以上知っている人の割合は5割弱であり、東京圏を中心に本市の情報に触れる機会や魅力的なコンテンツ(動画、パンフレット等)を更に増やしていくことが必要である。 ・特別区連携プロジェクトの一環で港区主催イベントへの参加を通じて、港区と良好な関係を築き、港区広報紙で宇都宮の魅力を紹介してもらうなど、新たな情報発信に繋がったところであり、こうした事業パートナーとの関係を一過性にせず、育んでいくことで更なる情報発信に取り組むことが必要である。 <p>【②今後の取組方針】：宇都宮の情報に触れる機会の増加、事業パートナーとの関係性の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京圏の新たな交流活動拠点を活用しながら、魅力的なコンテンツの作成やメディアの目に留まる工夫をするなどにより、宇都宮の情報に触れる機会や場を増やしていく。 ・港区との関係性を強化しながら、本市の魅力を東京圏に効果的に発信していくとともに、新たな特別区や東京圏の企業・団体との連携を図るなど、事業パートナーの獲得に努めていく。 ・今後の事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況を注視する必要があるが、感染症を契機とした地方への分散・回帰の機運の高まりを捉え、消費喚起策など経済のV字回復に向けた動きに合わせて、庁内関係部署や関係団体等と連携しながら本市の魅力発信に取り組んでいく。 	
本市への定住と東京圏からの移住等の促進	IV-13	移住・定住の促進	好循環P 戦略事業	東京圏在住者に本市の魅力を知らせ、本市へ移住・定住する人を増やす。	東京圏を中心とした、本市外に在住する方	<ul style="list-style-type: none"> ・移住定住アプリなど による本市の魅力・情報の発信 ・ワンストップ窓口による相談受付 ・本市における各種支援制度の利用促進 	計画 どおり	3,565	H28	独自性 先駆的	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】：移住・定住に関する情報発信の充実と支援制度の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、「移住・定住アプリ」による情報発信を実施するとともに、県と連携して、東京圏からの移住者に対して支援金を給付する事業を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響等により年度末の移住・定住相談窓口への相談件数が低調となり、前年度と比較して全体件数は横ばいの結果となった。 ・また、大学進学を契機に多くの学生が東京圏に流出していることが課題となっており、移住・定住の促進だけでなく、本市にゆかりのある東京圏在住者や本市出身学生などに対して、本市の魅力を認識してもらい関係人口の創出やUターン就職を促進する必要がある。 <p>【②今後の取組方針】：移住・定住の更なる促進と関係人口の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、効果的な情報発信による移住・定住の促進を図るとともに、本市と継続的な関わりを持つ関係人口の創出や東京圏に在住した本市出身学生などの若者をターゲットとした取組の強化を図っていく。 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
みや暮らし体験事業	IV-13	移住・定住の促進	好循環P 戦略事業	地方への移住を検討する方などに、本市の魅力を知ってもらう体験の機会を提供し、本市への移住・定住人口の増加を図る。	東京圏を中心とした、本市外に在住する住民	・本市での生活を体験できる機会としてのみや暮らし体験の実施	計画 どおり	2,512	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):事業の周知・PRの強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業手法を見直したことにより、事業実施期間を前年度よりも延長し、利用者数を増やすことができた。 ・利用者の声としては、宇都宮での生活や移住に当たっての公的支援、東京圏への通勤可否を確認することができたことあり、移住検討熟度の向上につながった。 ・また、県主催の移住促進イベントへの出展によるPRや電車内の広告、移住情報誌への記事掲載など、周知・PRを強化したこと、申込みや問合せにつながった。 <p>【②今後の取組方針:就労支援など他分野との連携による多様なニーズへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者の様々なニーズに対応できるよう、農業体験プログラムの提供など他課や関係団体との連携方策等について検討する。 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う生活意識や行動の変化により、首都圏をはじめとする在宅勤務経験者等において地方移住への関心の高まりがみられることから、こうした新たな需要に対応する事業内容等について検討を進める。 	
ジャパンカップサイクルロードレースの開催	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P 戦略事業	国際大会の開催により、「自転車のまち」を推進し、交流人口の増加や地域経済の活性化、本市ブランド力の向上、シビックプライドの醸成を図る。	・NPO法人ジャパンカップサイクルロードレース協会 ・市民を含む大会来訪者、選手ほかチーム関係者	・ジャパンカップサイクルロードレースの開催に係る経費の一部を交付 ・安全安心な大会運営に向けたコース整備等を実施	計画 どおり	174,495	H4	トップクラス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):安全かつ円滑な大会運営と地域経済の活性化、大会の更なる魅力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会1週間前の台風により、レースコース等に被害があったが、民間事業者等の協力のもと迅速な復旧により予定どおり大会を開催するとともに、安全かつ円滑な大会運営を行うことができた。 ・クリテリウム10回大会を記念し初開催したウィメンズクリテリウムや、ワールドチームの有名選手による優勝争いなど高質なレースが展開されたこともあり、クリテリウムに5万人、ロードレースに8万2千人、合計13万2千人(前年同数)が来場し、28億1千万円(対前年比約1%増)の経済波及効果を生み出した。 ・UCI(国際自転車競技連合)による2020シーズンからの新たなレースカテゴリー体系導入に対し、「UCIプロシリーズ」の承認を受けたこと、ジャパンカップの更なる魅力向上に向けた調査研究を行った。 <p>【②今後の取組方針:大会の魅力維持・向上と次年度の開催に向けた準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度の大会が中止となったことから、ジャパンカップのブランド力や盛り上げの維持・向上につながる取組を実施するとともに、ワールドチームの招聘や協賛金の獲得に向けた取組、UCIの感染予防に係るガイドラインに沿った大会の準備を行うなど、来年度の大会に向けて魅力の維持・向上に取り組んでいく。 	
「3x3のまち」推進による都市魅力向上事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ	SDGs 戦略事業	国際大会の開催をはじめとする「3x3のまち」の推進により、交流人口の増加や地域経済の活性化、本市ブランド力の向上、シビックプライドの醸成を図る。	・FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019実行委員会 ・市民を含む大会来訪者、選手ほかチーム関係者	・宇都宮ファイナルの開催に係る費用の一部を交付 ・宇都宮市長杯の初開催をはじめ、国内トップリーグの誘致や小中学校への屋外バスケットゴールの設置等	計画 どおり	96,116	H28	トップクラス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):地域経済の活性化と本市の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市長杯や東京オリンピック出場発表セレモニーなどを通して大会の機運を醸成しながら、大会当日においては、宇都宮餃子祭りなど街なかのイベントとの連携や、顔認証技術による実証実験等スマートシティの実現に向けた取組の展開により、過去最高となる7万8千人(対前年比約17%増)が来場し、経済効果も過去最高の5億6千万円(対前年比約23%増)を生み出した。 ・100ヶ国以上のテレビ局にて大会の様子が取り上げられたほか、FIBA(国際バスケットボール連盟)会長をはじめとした多くの大会関係者等を迎え、本市の魅力を発信したことにより、YouTubeで約1,300万viewを記録するなど、本市の知名度の向上につながった。 <p>【②今後の取組方針:大会の魅力維持・向上と次年度の開催に向けた準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和2年度の大会が中止となったことから、3x3のブランド力や盛り上げの維持・向上につながる取組を実施するとともに、協賛金の獲得に向けた取組やFIBAの感染予防に係るガイドラインに沿った大会の準備を行うなど、来年度の大会に向けて魅力の維持・向上に取り組んでいく。 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
宇都宮サイクルスポーツ 推進事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創 出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P 戦略事業	国際大会の開催に より「自転車のま ち」を推進し、交流 人口の増加やサイ クルスポーツの振 興を図る。	・宇都宮サイクル スポーツ推進委員 会 ・市民を含む大会 来訪者、選手ほか チーム関係者	宇都宮シクロクロス開催に係 る費用の一部を交付	計 画 ど お り	9,860	H27		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】国際レースとしてのシクロクロスの開催と付帯イベントによる盛り上げの創出</p> <p>・海外選手が過去最多の出場となり、国内トップ選手との首位争いなど迫力ある高質なレースが展開されたとともに、キックバイク大会やアウトドア体験エリアの設置など多彩な付帯イベントを実施したことで、2日間で2万5千人(前年同数)が来場し、盛り上げを創出することができた。</p> <p>【②今後の取組方針】安心・安全な大会の検討</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、大会の開催可否のほか、開催する場合にはその内容について検討していく。</p>	
プロスポーツチーム支援 事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創 出・ブラッシュアップ	SDGs	・3つのプロスポ ーツチームのホーム タウン自治体とし て、支援策を実施 することにより、シ ビックプライドの醸 成や地域の活性化 を図る。	・本市を拠点に活 動する3プロスポ ーツチーム ・全市民	・公式戦や練習等、活動環境 の向上に向けた支援 ・ファン層拡大に向けた広報 支援 ・地域貢献活動等の場(機 会)の提供	計 画 ど お り	0	H26		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】ホームタウン自治体としての支援連携策の実施</p> <p>・宇都宮ブリッツェンと連携し、「うつのみやサイクルピクニック」等において本市の魅力を発信したほか、栃木SCと宇都宮ブルックスのホームゲームにおける「宇都宮愉快デー」の開催や、JR宇都宮駅東西自由通路への歓迎ポスターの掲出を通して、アウェイサポーターのおもてなしを実施した。</p> <p>・プロスポーツチームの活動環境向上のため、市有施設の優先予約を行った。</p> <p>【②今後の取組方針】支援連携策の強化</p> <p>・プロスポーツチームの課題を共有できるよう、チームとの連絡調整を積極的に行うとともに、新型コロナウイルス感染症のプロスポーツチームへの影響を踏まえた支援策を実施していく。</p>	
ジャパンカップ開催環境 向上事業	IV-13	都市の魅力の発掘・創 出・ブラッシュアップ	SDGs 好循環P 戦略事業	本市ブランド力向上 や協賛金獲得に向け たレース映像の 魅力向上のほか、 走行環境の向上を 図る。	・市民を含む大会 来訪者や選手 ・森林公園を訪れる サイクリスト	ジャパンカップの開催環境の 向上に向けた整備を実施	計 画 ど お り	7,478	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】ジャパンカップ開催環境の向上</p> <p>・古賀志林道下り区間における樹木の剪定を行い、選手の視認性向上のほか、若抑制による走行環境の安全性向上を図った。</p> <p>・森林公園駐車場内の樹木伐採を行い、観戦者の滞在空間の拡大を図った。</p> <p>【②今後の取組方針】開催環境の更なる向上</p> <p>・レース映像の更なる魅力向上に向けて、空撮可能範囲の拡大のため古賀志林道下り区間の樹木を剪定するとともに、安定的なライブ配信に必要となる光回線や電源を古賀志林道山頂まで整備するなど、ジャパンカップの開催環境の更なる向上を図っていく。</p>	
大谷観光景観形成事業 (補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活 性化の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	地域団体が実施す る観光景観形成を 支援し、大谷地域 の観光振興を推進 する	大谷地区総合開発 推進協議会	大谷・多気地区の美観維持 に係る費用(岩肌のつた、雑 草除去及び奇岩景観の保 全)の一部を補助	計 画 ど お り	3,000	H15		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】地元団体が主体となった観光景観の向上</p> <p>・地元団体と連携を図りながら、良好な景観づくりに向け、下草刈りや花の植え替え、日本遺産の構成文化財でもある越路岩の岩だしなどに加え、観光交通社会実験の実施に合わせ、グリーンスローモビリティの走行ルートの除草を行い、観光景観の向上を図った。</p> <p>【②今後の取組方針】大谷地域の景観形成に向けた機運醸成</p> <p>・大谷地域の観光を推進するため、周遊性の向上や景観形成重点地区の指定に向けた機運の醸成を図り、引き続き地元団体との連携を図りながら、魅力ある景観形成に取り組む。</p>	
大谷特性活用支援事業 (補助金) (※大谷石産業振興事業 含む)	IV-13	観光地・大谷の地域活 性化の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	大谷地域の特性を 活用した事業の開 発等を支援し、新た な魅力となる地域 産業の創出を推進 する	・市内に事務所又 は事業拠点を有す る法人、LLP ・国内の高等教育 機関、又は当該高 等教育機関に所属 する教職員を代表 とする研究グルー プ	大谷の地域資源を活用した 新たな地域産業等の創出 や、学術的視点から調査研 究を行う取組に係る経費の 一部を補助	計 画 ど お り	1,571	H23		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】新たな地域産業等の創出</p> <p>・新たな体験型観光コンテンツの本格事業化に向け事業効果を確認するとともに、大谷石陶芸の焼成の研究など、地域資源を活用した産業創出の具体化に向けた取組を推進した。</p> <p>【②今後の取組方針】地域資源等の活用促進</p> <p>・これまで支援を行ってきた民間事業者等の円滑な事業化を推進するとともに、新たな観光コンテンツ創出に向けた資源の掘り起こし等を行う。</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
大谷地域資源活用事業 (冷熱エネルギーを活用 した大谷地域の振興)	IV-13	観光地・大谷の地域活 性化の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	冷熱エネルギーを 活用した事業を推 進し、大谷地域の 振興を図る	市内外の企業、地 域住民	・大谷地域における冷熱エネ ルギーの持続的活用に向けた モニタリング調査 ・冷熱エネルギー活用事業へ の参入促進に向け、冷熱利 用機器の導入に係る経費の 一部を補助	計画 どおり	8,950	H24	独自性	【①昨年度の評価(成果や課題):冷熱エネルギー活用事業の拡大】 ・大谷夏いちごの栽培事業者がハウスを増設し栽培面積を拡大するとともに、冷熱エネルギー等の研究のために民間事業者・大学等が大谷石等を利用した半地下型ハウスを新たに整備するなど、冷熱エネルギーを活用した事業の展開を支援した。 ・大谷夏いちごの産地化に向けて、新規参入事業者の誘致とあわせ、冷熱供給が可能な農地を確保していく必要がある。 【②今後の取組方針:冷熱利用・管理方策の整理等】 ・冷熱エネルギーの安定的・持続的な供給の仕組みを確立し、冷熱エネルギー活用事業のさらなる拡大を図るため、3か年のモニタリング調査結果を取りまとめ最適な熱利用・管理方策を整理し、誘致に向けたPR資料等を作成するとともに、引き続き民間事業者が行う冷熱利用機器の導入を支援する ・大谷夏いちご栽培事業者への新規参入に向けた企業誘致や環境整備を実施するとともに、民間事業者等による半地下型ハウスでの調査・研究が円滑に行われるよう連携・支援を行う。	
大谷石利用促進事業(補助金)	IV-13	観光地・大谷の地域活 性化の推進	SDGs	大谷石需要の拡大 及び大谷石産業の 活性化を図る	市内で居宅・事務 所等の新築・増改 築を行う際、内外装 の材料として、大谷 石を活用する建築 主	市内で居宅・店舗等の内外 装等の材料として、大谷石を 利用した者への経費の一部 を補助	計画 どおり	4,954	H22		【①昨年度の評価(成果や課題):大谷石産業の振興】 ・市民や施工業者にも本補助制度の周知が広がっており、昨年度も50件以上の補助実績となるなど、大谷石の需要拡大や大谷石産業の振興に繋がっている。 【②今後の取組方針:大谷石産業の持続的振興】 ・本市の特徴である大谷石の景観づくりを推進するため、居宅の外壁に大谷石を利用する場合の支援を拡充する。	
(公財)大谷地域整備公 社運営費補助金	IV-13	観光地・大谷の地域活 性化の推進		大谷石採取場跡地 等の安全対策事業 を総合的に推進す る	(公財)大谷地域整 備公社	大谷地域の安全対策を行う 大谷地域整備公社の運営費 の一部を補助(栃木県2:宇 都宮市1)	計画 どおり	31,909	H2		【①昨年度の評価(成果や課題):観測システムの運用による迅速な対応等】 ・観測システムを運用し、採取場跡地での振動発生等の常時監視・解析を行うとともに、県、市、公社などが連携した危機管理体制を整え、小規模陥没等の事象発生時に迅速な情報周知等を実施した。 【②今後の取組方針:着実な安全対策の遂行】 ・大谷地域の安全対策の推進及び市民生活の安定を図るため、(公財)大谷地域整備公社による観測システム等の安全対策を着実に運用していく。	
拠点性向上事業 (※建設事業を含む)	IV-13	観光地・大谷の地域活 性化の推進	SDGs 好循環P 戦略事業	観光周遊拠点機能 の形成や地域の情 報発信等により、大 谷の観光拠点性の 向上を図る	市民、本市来訪者	・観光周遊拠点機能の形成 に向けた候補地や機能・規 模の検討並びに測量等の実 施 ・大谷地域ポータルサイト等 による情報の発信	計画 どおり	5,852	H30		【①昨年度の評価(成果や課題):基本計画(案)の作成やサイト閲覧数等の増加】 ・拠点機能の形成について、施設整備に向けた基本計画(案)の作成に着手し、拠点に導入する機能や施設の基本的な考え方を整理した。 ・ポータルサイトについて、大谷の魅力伝えるストーリーやインバウンド需要に対応したSNSの活用や市民ライター(アメリカ人)による外国人目線での発信など、コンテンツの拡充を図った。 【②今後の取組方針:施設整備の具体化やさらなる認知度向上】 ・拠点機能の形成について、将来活用イメージ等を整理し基本計画を取りまとめるとともに、施設整備の具体化に向け基本設計・実施設計を行う。 ・ポータルサイトについて、アクセス解析に基づくサイトの見直しや、イベントカレンダー等により地域で行われる催し等を閲覧できる機能を検討するなど改善・運用を図るとともに、Uスマートシティとの連携などにより情報発信機会を拡大しさらなる認知度向上を図る。	拡大

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
観光地インフラ整備事業 (※建設事業含む)	IV-13	観光地・大谷の地域活 性化の推進	SDGs	120万人の観光入 込客を見据えた将 来の最適な交通 ネットワークの形成 に向け、観光交通 社会実験や道路改 良等により、交通環 境の向上を図る	市民、本市来訪者	・観光交通社会実験の実施 や交通インフラのあり方の検 討等	計画 どおり	41,440	R1		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):交通渋滞の緩和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討調査を通し将来必要な交通インフラのあり方を整理するとともに、社会実験を実施し駐車場の運用改善やグリーンズローモビリティの運行等により概ねスムーズに車が流れるなど、観光交通の混雑緩和を図った。 ・グリーンズローモビリティ等を活用した周遊性の向上について、持続可能な事業体制の構築に向けた検討を行う必要があるとともに、ICTの活用等によりさらなる回遊性向上を図っていく必要がある。 <p>【②今後の取組方針:Uスマートシティの取組や栃木県など関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Uスマートシティの取組と連携を図りながら、持続可能な事業体制の構築に向け、実験の実施主体について地域団体等への段階的な移行に向けた検討を行うなど、昨年度の実験結果を踏まえた改善等を加えた観光交通社会実験を実施する。 ・交通インフラのあり方検討結果を踏まえ、道路改良に向けた設計等を行うとともに、栃木県などの関係機関と連携のもと、主要回遊動線全体の交通環境向上に向けた取組を進める。 	
観光宣伝事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	本市の魅力ある観 光情報の発信を行う ことで、本市知名度 の向上及び、本市 への誘客を図る	首都圏及び新幹線 沿線都市を中心と した、本市外に在 住する方	・観光パンフレット(るるぶ宇 都宮)作製、配布 ・観光パンフレット(ミニるる ぶ)作製、配布 ・餃子、ジャズ、カクテルマッ プの配布 ・HPやSNS,アプリを活用し た情報発信	計画 どおり	8,875	S59		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):効果的な観光宣伝事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、首都圏における観光キャンペーンへの参画による観光パンフレットの配布をはじめ、旅行雑誌やSNS等を活用した観光情報の発信などを行い、本市の知名度及びブランド力の向上を図った。 <p>【②今後の取組方針:戦略的観光PRの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、新型コロナウイルスの影響を見極めながら、観光動態調査等の分析結果をもとに、観光ニーズを的確に捉えた戦略的な各種キャンペーンなどを実施するとともに、宇都宮観光コンベンション協会のSNSを活用した情報発信など、鮮度の高い観光宣伝に取り組んでいく。 	
観光セールス強化事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	首都圏や新幹線沿 線都市等でのプロ モーションや、時期 を捉えた情報発信 を行うことで、本市 への誘客促進を図 る	首都圏及び新幹線 沿線都市を中心と した、本市外に在 住する方	本市来訪の契機とするため の、トップセールス、メディア の活用、キャンペーンキャラ バンを実施	計画 どおり	6,745	H23		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):効果的な観光宣伝事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、首都圏をはじめ、横浜や函館、仙台など新幹線沿線都市でのプロモーションや情報発信を官民一体となって行った。 <p>【②今後の取組方針:戦略的観光PRの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は新型コロナウイルス感染症で影響を受けた観光業の需要回復策を展開するため、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、首都圏などにおいて、宇都宮観光コンベンション協会や観光推進委員会なども連携を図りながら幅広く様々な媒体を使ってセールス強化に取り組んでいく。 	
広域連携事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	近隣市町、栃木 県、首都圏を中心 とする自治体や、観 光関連団体と連携 した観光PR事業を 行い、本市知名度 の向上及び、本市 への誘客を図る	首都圏及び新幹線 沿線都市を中心と した、本市外に在 住する方	栃木県観光物産協会や関東 観光広域連携事業推進協議 会などの各団体と連携した、 国内外での観光PRの実施 や広域周遊ルートの作成	計画 どおり	1,088	H18		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):広域連携の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、県内連携はもとより、「東日本連携創生フォーラム」や「関東観光広域連携推進協議会」などの広域的な枠組みに参画しながら各種事業を展開することで、広域的な誘客宣伝活動を行った。 <p>【②今後の取組方針:更なる広域連携の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、新型コロナウイルスの感染症の収束状況を見極めながら、国内外向けの誘客活動として県や関係団体とともに、国内での観光キャラバンや商談会・旅行博への参加、新たな観光ルートの創出などに取り組む、更なる広域連携を図っていく。 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
栃木県アンテナショップ運営事業(負担金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	首都圏において、本市観光情報を発信することで、本市への観光誘客を図る	栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」	本市加工品の販売や観光情報の発信など運営経費の一部を負担	計画 どおり	2,447	H24		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):アンテナショップの活用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、首都圏のアンテナショップにおいて、特設ブースの設置などの積極的な観光PR活動を展開することで、市の知名度やブランドの向上による誘客促進が図られた。一方で、出店してから7年を経過しており、各市町と連携しながらよりPR効果を高めるための取組が必要である。 <p>【②今後の取組方針:本市観光資源の更なるブランド力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後は、栃木県と意見交換しながらブランド力の発信に取り組むとともに、栃木県及び県内の市町が一体となって首都圏におけるアンテナショップを活用した物産等の販売や感染症の収束状況を見極めつつ3密対策を施しながらイベントスペースでのPRを実施し、観光客等に向けた情報発信等を展開していく。 	
大谷地域周遊促進事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	二次交通を活用した市内周遊を促進することで、観光客の利便性を高める	本市来訪者	<ul style="list-style-type: none"> みや観光周遊バス(大谷～若山農場～ろまんちっく村)の運行 バス乗車券に観光施設入場券等を付帯した企画乗車券を販売 	計画 どおり	1,261	H26		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):大谷周辺地域の周遊促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、アフターDC期間の周遊バスの運行により、本市の観光拠点である大谷やろまんちっく村など市北西部の点在する観光資源をつなぎあわせてこにより、観光客の滞在時間の延長や満足度の向上が図られた。 <p>【②今後の取組方針:民間事業者との連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後については、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら事業者や観光推進委員会と連携を図りつつ、新たな観光スポットを加え従来以上に大谷地域へ観光客を誘導するような周遊ルートの拡充などについても交通事業者等と意見交換を行うなど、二次交通の充実を図っていく。 	
外国人の誘客促進事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	外国人観光客の誘客促進に取り組むことで、市内経済の活性化を図る	外国人観光客	<ul style="list-style-type: none"> 海外での観光プロモーション 外国語版パンフレットの製作・配布・PR 	計画 どおり	8,000	H27		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):インバウンドプロモーションの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、台湾やタイなどでの継続的なプロモーションを実施するとともに、ビッグデータを活用しながら本市を来訪する外国人観光客の周遊行動の分析を行い、課題や施策の方向性等の導出を行った。 <p>【②今後の取組方針:更なるインバウンドの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新型コロナウイルスの影響を見極めながら、海外での観光情報発信と、現地旅行会社によるツアー造成に取り組むとともに、分析調査を踏まえた効果的な誘客プロモーションの実施により、更なるインバウンドの拡大を図っていく。 	
観光拠点創出事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs 戦略事業	本市の特色を活かした観光拠点を整備することで、メディア等への露出を促し、市外からの誘客促進を図る。	餃子通り(宮島町通り)	<ul style="list-style-type: none"> 餃子をテーマとした様々な装飾 マスメディア等を活用した情報発信 	計画 どおり	2,200	H13		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):官民一体となった観光拠点の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、「餃子通り」に餃子型街灯のほか様々なアイテムを整備し、餃子通りの知名度、ブランド力の向上を図ることができた。 <p>【②今後の取組方針:観光拠点の更なる磨き上げ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も、観光客に目的地として訪れてもらえるよう、新たなアイテムを設置するなど集客性や話題性の向上を図るとともに、民間事業者等と連携しながら、餃子通りの更なる磨き上げに取り組んでいく。 	
フェスタin大谷事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「フェスタin大谷」の開催を支援することで、本市の観光拠点である大谷地域観光を推進する	フェスタin大谷実行委員会	フェスタin大谷の開催に係る費用の一部を交付	計画 どおり	1,870	H13		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):大谷の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、本市の重要な観光地である「大谷」の夜の魅力を発信するため、「フェスタin大谷」の開催・運営の支援に取り組んだ。しかしながら、台風被害の影響により、当イベントは中止となった。 <p>【②今後の取組方針:大谷の観光振興の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も、「石の里・大谷」を県内外に向けて広くPRし、更なる誘客促進を図る必要があることから、官民連携を図りながら、フェスタin大谷を通じた大谷地域の活性化と観光振興に取り組んでいく。なお、新型コロナウイルスの状況を見極めながら支援していく。 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
ふるさと宮まつり事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「ふるさと宮まつり」の開催を支援することで、郷土文化の醸成や本市のイメージアップにつなげる	ふるさと宮まつり開催委員会	宮まつりの開催に係る費用の一部を補助	計画 どおり	11,100	S51		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):知名度向上と誘客促進】 令和元年度は、ふるさと宮まつりの開催を支援することにより、多くの観光客が本市を訪れ、中心市街地の活性化や本市の知名度向上が図られた。</p> <p>【②今後の取組方針:実行委員会への持続的な支援】 今後も、北関東最大規模の祭りであるふるさと宮まつりの支援を通じ、本市の知名度向上や誘客促進を図っていく。なお、新型コロナウイルスの影響については状況を見極めながら支援していく。なお、新型コロナウイルスの影響により令和2年度ふるさと宮まつりを中止とし、代替事業について引き続き支援を行う。</p>	
うつのみや花火大会事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「うつのみや花火大会」の開催を支援することで、本市の知名度向上やイメージアップにつなげる	特定非営利活動団体うつのみや百年花火	「うつのみや花火大会」の開催に係る費用の一部を補助	計画 どおり	3,000	H19		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):知名度向上と誘客促進】 ・令和元年度は、「うつのみや花火大会」の開催を支援することにより、多くの観光客が本市を訪れ、地域経済の活性化や本市の知名度向上が図られた。</p> <p>【②今後の取組方針:実行委員会への持続的な支援】 ・今後も、全国に誇れる花火大会である「うつのみや花火大会」の支援を通じ、本市の知名度向上や誘客促進を図っていく。なお、新型コロナウイルスの影響により2020うつのみや花火大会の開催は中止とし、代替事業について引き続き支援を行う。</p>	
MotoGP活用事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「MotoGPイベント」の開催を支援することで、本市の知名度向上やイメージアップにつなげる	MotoGPイベント実行委員会	近隣自治体とともに、イベントを開催する費用を交付	計画 どおり	400	H24		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):宇都宮市内への誘客促進】 ・令和元年度は、ツインリンクもてぎで開催された、世界各国からの選手や観客が来場する「Moto GP世界選手権シリーズ」の開催に合わせ、効果的な観光宣伝事業を展開し、本市知名度の向上及び誘客促進に取り組んだ。</p> <p>【②今後の取組方針:実行委員会への持続的な支援】 ・引き続き、近隣自治体との広域連携を図りながら、世界各国から多くの選手や観客が来場する「MotoGP世界選手権シリーズ」を活用した効果的な事業施策に取り組みながら、本市の知名度向上や誘客促進を図っていく。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度においては中止となった。次年度の開催について状況を見極めながら進めていく。</p>	
ジャズのまち活性化事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「ミヤジャズイン」の開催を支援することで、本市の知名度向上やイメージアップにつなげる	ミヤ・ジャズ推進協議会	イベントに係る費用の一部を交付	計画どおり	1,000	H22		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):ジャズを活用した中心市街地活性化、観光誘客促進】 ・令和元年度は、ジャズイベント等の開催により、宇都宮のジャズの知名度及びブランド力の向上が図られたとともに、中心市街地の活性化や観光誘客が促進された。</p> <p>【②今後の取組方針:協議会への持続的な支援】 ・今後も、多くの来場者が訪れる「ミヤジャズイン」の支援を通じ、本市の知名度向上や誘客促進を図っていく。なお、新型コロナウイルスの状況を見極めながら支援していく。</p>	
デスティネーションキャンペーン事業(交付金等)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	国内最大級の観光キャンペーン最終年である3年目のアフターDCを契機に、観光客の本市への誘客促進を図る	宇都宮市DC推進委員会	事業実施に係る経費を補助	計画 どおり	7,456	H28		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):アフターデスティネーションキャンペーンを活用した誘客促進】 ・令和元年度は、交通事業者や観光関連団体などで構成される「宇都宮市DC推進委員会」において、官民連携を図りながら、餃子通りにおける餃子型の防犯灯の設置やカクテルバーツアーなどの新規イベントなどを開催し、DC開始前と比較して入込客数及び宿泊者数が増加した。</p> <p>【②今後の取組方針:官民一体となった観光振興】 ・DC推進委員会の体制を引き継ぐ「宇都宮観光推進委員会」を設立。引き続き官民連携を図りながら、資源の磨き上げをはじめとした各種観光施策に取り組む。</p>	廃止 ・ 終了

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
観光コンベンション協会事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	観光振興の中核的役割を担う宇都宮観光コンベンション協会の支援を行うことで、本市への観光誘客による市内経済の活性化を図る	宇都宮観光コンベンション協会	観光推進事業やコンベンションの誘致、フィルムコミッションなどの事業運営に要する経費の一部を補助	計画 どおり	50,483	H12		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:官民一体となった観光事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、観光・コンベンション事業を展開する宇都宮観光コンベンション協会を支援することにより、本市観光のPRや積極的なセールス活動の実施など、本市における観光振興を図るとともに、交流人口の増加による地域経済の活性化に取り組んだ。 <p>【②今後の取組方針】:観光コンベンション協会の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、駅東コンベンション施設の開館など、観光を取り巻く環境が大きく変化していることから、これらの好機を確実に捉え、本市観光を推進する中核組織となるよう、観光コンベンション協会の在り方を整理し、機能強化に向けて取り組んでいく。また、新型コロナウイルスの影響による旅行形態の変化を的確に捉えながら、各種観光施策に取り組む。 	
宇都宮さつき&花フェア開催事業(交付金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	市花のPR・花き・花木の普及定着と生産振興	宇都宮さつき&花フェア実行委員会	宇都宮さつき&花フェアの開催に係る費用の一部を交付	計画 どおり	2,520	H8		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:知名度向上と誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、宇都宮さつき&花フェア開催することにより、宇都宮市の花「さつき」を全国にPRするとともに、誘客促進が図られた。 <p>【②今後の取組方針】:実行委員会への継続的な支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後とも市の花「さつき」の理解促進と更なる誘客促進を図る必要があることから、引き続き、「宇都宮さつき&花フェア実行委員会」を支援していく。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度においては中止となった。次年度の開催について状況を見極めながら支援していく。 	
農業・農村ふれあい交流事業(補助金)	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	農業・農村地域の活性化と交流人口の拡大	農業・農村ふれあい交流事業を実施する市内の地域農業者等で構成される団体	都市と農村の交流に係る事業費用の一部を補助	計画 どおり	200	H17		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:都市と農村の交流促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、本市の豊かな「農」資源を活用し、癒し・やすらぎを求める都市住民のニーズに対応した農村地域と都市住民との交流事業を展開することにより、都市と農村の交流促進が図られた。 <p>【②今後の取組方針】:団体等への継続的な支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後は、市外からの観光客や市民を含む都市住民に対し、農業や収穫などの体験をしてもらうことで、都市と農村の交流や農村地域の活性化が図られることから、引き続き、農作業体験等のふれあい交流事業を実施する団体を支援していく。 	
農林公園整備事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	農林業観光交流施設の充実	指定管理者	施設の維持保全、魅力向上に伴う整備等	計画 どおり	35,532	H8		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:観光施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、来園者のニーズに対応した公園整備(既存施設の改修・修繕)を行うとともに、道の駅を持つ知名度と情報発信力を活かし、市外・県外からの集客力の向上と北西部地域の活性化を図った。一方で、開館から20年を超え、施設の経年劣化が進行している。 <p>【②今後の取組方針】:適切な管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 農林公園施設点検調査業務報告書に基づき、適切な管理運営を行っていくことが重要であることから、引き続き、指定管理者と連携を強化しながら、施設の維持修繕工事を計画的に実施するとともに、今後の整備計画を作成する必要がある。 	
地域交流館整備事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	農林業観光交流施設の充実	指定管理者	施設の維持保全等	計画 どおり	17,405	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:観光施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、管理運営が適切に実施されるよう、モニタリングを行うとともに、開館から10年を超え、施設の経年劣化が進行していることから、施設の維持修繕工事を計画的に実施した。また、地域の交流拠点として、各イベントの開催や地元農家と連携した事業を実施し、施設の魅力向上が図られた。 <p>【②今後の取組方針】:適切な管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な管理運営を行っていくことが重要であることから、引き続き、指定管理者と連携を強化しながら、施設の維持修繕工事を計画的に実施していく。 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
おもてなし推進委員会運営事業(負担金)	IV-14	おもてなしの充実		市民や事業者のおもてなし能力の向上させ、本市を訪れた観光客に、「来てよかった」、「また訪れたい」と感じていただき、本市への再訪につなげる	おもてなし推進委員会	観光ボランティアの育成やおもてなしの向上に要する経費の一部を負担	計画 どおり	400	H20	独自性	【①昨年度の評価(成果や課題)】:官民が連携したおもてなし体制の構築 ・令和元年度は、市民や事業所の全体的におもてなし能力を向上させるため、官民協同で設置した「おもてなし推進委員会」において、セミナーや出前講座などのおもてなし運動を推進することにより、市民や事業者の「おもてなし」能力の向上が図られた。 【②今後の取組方針:更なるおもてなしの充実】 ・今後も、更なる「おもてなし力」の向上と充実を図るため、引き続き、「おもてなし推進委員会」を活用し、講座やセミナーの開催などに取り組み、市域一丸となって「おもてなし日本一」のまちづくりを推進していく。	
観光コンベンション協会事業(負担金)	IV-14	おもてなしの充実		本市の玄関口でもあるJR宇都宮駅観光案内所において、来訪者へ丁寧でわかりやすい観光案内を行うことで、おもてなしの向上を目指す	宇都宮観光コンベンション協会	観光案内所などの維持管理及び運営事業に要する経費を負担	計画 どおり	9,002	H12		【①昨年度の評価(成果や課題)】:観光客への案内充実 ・令和元年度は、本市来訪者が快適に市内観光を周遊できるよう、JR宇都宮駅観光案内所の「おもてなし」の充実に取り組みむとともに、各種イベント等の案内の充実など、案内機能の充実に取り組んだ。 【②今後の取組方針:案内機能の更なる充実】 ・今後は、観光案内所の更なる機能強化を図るため、広域案内の提供や多言語対応の強化に取り組みむなど、観光客のニーズを踏まえながら、更なるおもてなしの向上を図っていく。	
観光振興促進事業(補助金)	IV-14	おもてなしの充実		事業者が行う、観光施設の改築や備品の購入等を支援することで、本市の更なる観光振興を図る	・本市に体験型観光施設を設置しようとする事業者、工場、伝統工芸品店その他商店等 ・大谷エリア等での新たな飲食店出店希望者	整備に要する経費の一部を補助	計画どおり	8,456	H18		【①昨年度の評価(成果や課題)】:観光施設・事業所出店への支援 ・令和元年度は、大谷エリアへの新たな出店事業者等を支援することにより、飲食店等の整備が促進され、観光客へのおもてなしの向上が図られた。 【②今後の取組方針:補助金の活用促進】 ・今後も、ものづくり等の体験施設や飲食・土産品販売の施設を整備する事業者への支援を行い、観光客へのおもてなしの充実に取り組んでいく。	
観光情報発信強化事業	IV-14	おもてなしの充実	SDGs	宇都宮観光アプリによる本市の観光情報の発信を行うことで、快適な市内観光を提供する。	国内外からの本市来訪者	・アプリ運用維持管理 ・観光プロモーション映像の活用	計画 どおり	4,926	H27		【①昨年度の評価(成果や課題)】:誘客促進と市内観光案内の充実 ・令和元年度は、宇都宮観光アプリによる観光情報、飲食店情報等の発信を、日本人はもとより、外国人に対しても行うことで、観光客の受入体制やおもてなしの充実が図られた。一方で、近年、ICTの技術の進歩は目覚ましく、ICTによる情報発信の手法についても、アプリ導入時に比べると増えていることから、観光アプリの廃止も含め検討していく。 【②今後の取組方針:観光アプリ廃止の検討】 ・近年のICTの潮流を見極めながら、新たな情報発信の手法について検討していく。	廃止・ 終了
外国人観光客受入体制の整備	IV-14	おもてなしの充実	SDGs	外国人観光客が快適に市内旅行をしてみらえるよう、市内の受入環境を整備する。	市・民間団体等	・外国人観光客向け公衆無線LANの整備、運用維持管理 ・観光施設等における案内看板やホームページ、メニューなどの多言語化に係る費用の一部を交付	計画 どおり	2,071	H29		【①昨年度の評価(成果や課題)】:外国人観光客の受入環境の充実 ・令和元年度は、公衆無線LANの設置や外国人受入体制補助金の周知強化などにより、民間の観光施設における多言語対応などが促進されるなど、本市の受入体制の充実を図った。 【②今後の取組方針:補助制度の利用促進】 ・今後は、公衆無線LANの設置をはじめとした環境整備やパンフレットやアプリ、タブレット等を活用した多言語による情報発信や観光案内の充実を図るとともに、積極的に民間事業者に働きかけを行うなど、補助制度の利用促進に取り組む。	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
東京2020オリンピック キャンプ地誘致事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs 戦略事業	スポーツを通じた中 心市街地の活性化 や市民が世界の 「本物」に触れる機 会の拡大等を図 る。	・FIBA(国際バス ケットボール連盟) ・東京オリンピック・ パラリンピック競技 大会組織委員会 ・栃木県	・オリンピックに合わせた本市 独自の取組の推進 ・栃木県が進めるハンガリー 選手団の事前トレーニング キャンプへの協力	計画 どおり	0	H26	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):オリンピックに向けた本市独自の取組の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際競技団体であるFIBAと連携しながら、オリンピックの出場国に対し、3x3という競技での事前トレーニングキャンプを呼びかける本市独自の取組を行うことができた。また、コミュニティライブサイトについても、実施概要をまとめ、組織委員会に申請することができた。 <p>【②今後の取組方針:オリンピックと連動したイベント開催への準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックが令和3年度に延期されたことから、本市での事前トレーニングキャンプについて、FIBAと連携しながら、出場国との調整を進めていくとともに、コミュニティライブサイトについても、改めて組織委員会との調整を進めていく。 ・ハンガリー選手団の受け入れについては、トレーニングキャンプや交流事業など、引き続き、栃木県と連携しながら、取組を進めていく。 		
ツール・ド・とちぎおもてなし事業	IV-14	戦略的観光の推進	SDGs	「ツール・ド・とちぎ」 の開催を通して、本 市ブランド力の向上 や誘客の促進を図 る。	・ツール・ド・とちぎ 実行委員会 ・大会来訪者 ・大会来訪者	・ツール・ド・とちぎの開催に 係る費用の一部を負担 ・大会来訪者に対して「自転車 のまち宇都宮」のPRを実施	計画 どおり	1,400	H28	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):大会開催に向けた協力・準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3ステージにおいて、本市の一部がコースとなり、清原中央公園が第3ステージフィニッシュ地点に該当していたことから、現地調査や立哨員の確保など大会開催に向けた協力や準備を実施したほか、大会来訪者向け本市PRグッズの制作を行った。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、3月16日に開催中止を発表。「ツール・ド・とちぎ」は令和元年度をもって終了 	廃止 ・ 終了	
「よみがえれ!宇都宮城」 市民の会活動補助事業	IV-15	文化の創造・継承・保 存・活用		市民主体による宇 都宮城の歴史の伝 承及び郷土愛の醸 成	「よみがえれ!宇都 宮城」市民の会	城址まつりや歴史講演会等 を通じ、宇都宮城の歴史の伝 承や郷土愛の醸成を目的と する活動費助成	計画 どおり	5,764	H14	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):宇都宮城址公園を活用したイベントの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城址公園を活用した「城址まつり」、また「歴史講演会」など、計画どおりの事業を実施させることができた。 ・また、「宇都宮城魅力向上検討委員会」を設置し、「宇都宮城の魅力向上」に向けて検討させた結果を提言書として市へ提出させた。 ・市民の会の正会員数は、様々な勧誘手段により昨年度を上回ったが、会員の高齢化などが課題であるため、幅広い世代の会員獲得へ向け、フェイスブックなどのSNSを活用した情報・魅力発信を実施させた。 <p>【②今後の取組方針:市民の会主体の運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なるイベント等の定着、魅力発信に向けて事業内容を充実させ、より多くの市民に宇都宮城の歴史を伝え、郷土への愛着や誇りを醸成させていくため、交付金を交付するとともに、同会がさらに魅力ある団体となり正会員が増加するよう支援をしていく。 ・市民の会で検討した「宇都宮城の魅力向上」に向け、短中期的に対応可能な活動の具体的な手段・手法等を検討・推進していけるよう支援していく。 ・関係機関による、VRの技術を活用した映像での宇都宮城の再現について、市民の会の意向が反映されるよう助言等をしていながら、更なる魅力発信に向け支援していく。 		

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
市民芸術祭共催事業負担金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	市民の芸術文化活動の発表・鑑賞機会を創出する。	宇都宮市民芸術祭実行委員会	宇都宮市民芸術祭40周年記念事業の開催	計画 どおり	18,248	S55		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):40周年記念事業の効果的な開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百人一首を統一テーマにすべての部門が参加し、各部門が工夫を凝らした演出や集客を模索することで、市民芸術祭全体としての一体感が醸成され、節目の年に相応しい記念事業が実施できた。今後も目的や対象などを明確にしたコンセプトを掲げることで、周年事業だけで終わらない継続性のある事業を計画するとともに、芸術祭全体として若い世代を取り込み、裾野を広げる必要がある。また、記念事業の開催にあたり文化振興団体などから助成を獲得し自主財源の確保に努めた。 <p>【②今後の取組方針:40周年記念事業の開催を契機とした市民芸術祭の更なる活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念事業の取組で築いたジャンルを超えた繋がりや盛り上がりを生かし、メディア芸術の充実や情報発信の強化を図るとともに、市民芸術祭50周年(2029年)を見据え、各部門において創意工夫を図りながら若い世代の参加促進に努めるほか、運営側にも若い世代の取り込みを図り、市民芸術祭の更なる飛躍につなげていく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文芸部門以外の4部門(茶華道部門・ギャラリー部門・ホール部門・メディア芸術部門)は中止 	
ジュニア芸術祭共催事業負担金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	小中高校生の芸術文化活動の発表・鑑賞機会を創出する。	うつのみやジュニア芸術祭実行委員会	うつのみやジュニア芸術祭の開催	計画 どおり	3,969	H11		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):ジュニア芸術祭の円滑かつ効果的な開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア芸術祭の各部門の事業を円滑かつ計画的に実施し、市民の認知度が一層高まるとともに、各ジャンルの垣根を超えた子どもたちの交流の場を創出することで芸術文化に対する意識の高揚を図ることができた。 <p>【②今後の取組方針:20周年記念事業の開催を契機としたジュニア芸術祭の更なる活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に開催した記念事業の取組で築いたジャンルを超えた繋がりや盛り上がりを生かし、引き続き、芸術文化の魅力を伝えるなど広く子どもたちにジュニア芸術祭への参加をアピールするとともに、市民に子どもたちの活動や成長を一層感じてもらえる機会を創出するなど創意工夫を図っていく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校演劇祭及び学校書道展以外は中止。学校演劇祭及び学校書道展については、6月開催の各部会運営委員会で開催の可否を決定。 	
文化協会事業補助金	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	市民主体による芸術文化の普及・振興を図る。	宇都宮市文化協会	ふれあい文化教室・栃木県文化振興大会・文化協会まつり・文化協会会員展等の実施	計画 どおり	1,820	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):各種事業の実施を通じた文化振興への寄与】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会会員が講師となり小中学校において筆・尺八や民謡、三味線や茶道など様々な文化の体験機会を提供している「ふれあい文化教室」は、子どもたちの豊かな感性や人間力の育成のほか、郷土に対する誇りや愛着の醸成に大きく寄与している。また、宇都宮市文化会館で開催された第44回栃木県文化振興大会では、本市は事務局として運営に携わり、文化協会との十分な連携により大会を成功させるとともに、文化芸術関係者の交流促進や本市の文化力のPRにつなげた。 <p>【②今後の取組方針:市民主体による文化活動の促進への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市文化協会は各ジャンルで活躍している市内芸術家を束ねた稀有な団体であり、引き続き市民主体の文化活動への支援を行うとともに、文化協会の自主財源の強化に向けて、令和元年度に協会が新設した企業・団体等向け講座「ふれあい文化教養講座」の周知・活用を支援していく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい文化教室を除く9月までの事業は中止(文化協会祭り、夏休みこどもマジック教室) ・また、11月開催予定の歌舞伎鑑賞会は中止 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
宇都宮エスペール文化振興事業	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	次代を担う芸術家の育成・支援を図り、本市の文化振興に寄与する。	今後の活躍が期待できる本市ゆかりの優れた芸術家	・隔年で宇都宮エスペール賞の選考、受賞者に育成金(200万円)を贈呈 ・エスペール賞の選考を行わない年は、プロボート事業(受賞者の発表機会提供事業・受賞者学校派遣事業)を実施など	計画 どおり	438	H13	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題):質の高い芸術文化に市民が触れる機会の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの受賞者が活動成果を発表する「プロボート事業」を開催し、旧篠原家住宅(国指定重要文化財)を会場としてコンサートや作品展示を行って、市民が質の高い芸術文化に触れる機会を創出し、本市文化のより一層の振興に繋げた。また、プロボート事業の一環として、受賞者学校派遣事業を新たに開始し、3校で行い、子どもたちに対しても質の高い文化芸術に触れる機会を創出した。 <p>【②今後の取組方針:宇都宮エスペール賞の選考による本市ゆかりの芸術家の育成・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の若手芸術家を育成・支援する取組は全国的にも稀有であり、令和2年度は宇都宮エスペール賞(ギャラリー部門)の選出を通じて、優れた芸術家を発掘する。また、令和元年度から開始した受賞者学校派遣事業を検証し、令和3年度のプロボート事業の効果的な実施に繋げていく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・影響なし。現在、予定どおり募集用チラシ・ポスターを作成中 	
文化創造財団運営補助金	IV-15	文化活動の充実		市民文化の創造を図り本市の文化振興に寄与するため設立した文化創造財団の円滑な組織運営を支援する。	(公財)つつのみや文化創造財団	財団の組織運営に要する経費の一部補助	計画 どおり	71,553	H14		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):宇都宮市文化会館及び宇都宮美術館・文化の森の適切な管理運営の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市文化会館及び宇都宮美術館・文化の森の指定管理者として、施設の適切な管理運営と受託事業を円滑に実施に努めた。 <p>【②今後の取組方針:本市の文化振興の中核組織としての機能強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財団の専門性の更なる向上と事務局機能の強化を図るため、引き続き、事務局を核として組織経営や内部統治に計画的・戦略的に取り組むほか、美術館と文化会館の連携によるアートやデザインと音楽を融合した事業や、市民全体に波及する事業を効果的に実施していけるよう指導・支援を行っていく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市文化会館の休館(令和2年4月19日～5月17日まで) ・宇都宮美術館の休館(令和2年4月25日～5月12日まで) ・財団受託事業、自主事業の中止または延期(コンサートや演奏会など) ・施設利用のキャンセル約600件(利用料金収入の大幅減)など 	
文化会館管理運営事業	IV-15	文化活動の充実		文化会館の円滑かつ適切な管理運営と効果的な事業実施により本市の文化振興を図る。	(公財)つつのみや文化創造財団(指定管理者)	指定管理者を運営主体とした文化会館の管理運営と文化振興事業の実施	計画 どおり	273,964	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題):様々な舞台芸術事業を通じた文化振興の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラシックや邦楽、ジャズ、演劇など幅広いジャンルの舞台芸術事業を展開したほか、子どもたちへの教育普及事業を実施し芸術文化の振興を図った。 <p>【②今後の取組方針:文化団体等との連携及び情報発信力の強化、周辺道路の渋滞緩和策の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館の持つ舞台技術や事業実施の専門スキルを生かし、令和2年度の40周年記念事業を効果的に実施するとともに、教育普及事業をはじめ、良質かつ魅力的な舞台芸術事業を企画するほか、地域や団体が行う文化芸術活動の支援や民間の文化活動を含めた幅広い情報の収集・発信に積極的に取り組んでいく。また、大規模な催事の際は駐車場の不足が生じるとともに、駐車場内の混雑や西側出入口付近の道路で渋滞が発生することから、東側の動線確保などの可能性も含め、財団と連携しながら対策の検討を進める。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の休館及び新規予約受付の休止(令和2年4月19日～5月17日まで) ・財団受託事業、自主事業の中止または延期(各種コンサートや演奏会など) ・施設利用のキャンセル約600件(利用料金収入の大幅減)など 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
文化会館整備事業	IV-15	文化活動の充実		利用者に安全で快適な施設サービスを提供する。	宇都宮市文化会館(利用者)	文化会館の施設・設備の計画保全や緊急対応	計画どおり	6,090	S54		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:計画的な保全整備による安全かつ快適な施設環境の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館から35年以上が経過しており、利用者の声にも配慮し、施設・設備の劣化等に伴う保全整備に計画的に取り組んだ。 <p>【②今後の取組方針:第2期大規模改修工事に向けた取組の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後実施すべき改修箇所を踏まえ、第2期改修工事に向けた課題をより明確にした上で、改修基本計画の見直しを行うとともに、在庫不足による照明のLED化など緊急を要する修繕箇所が判明した場合は早急な対応を検討する。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・影響なし。 	
美術館管理運営事業	IV-15	文化活動の充実		美術館及び文化の森の円滑かつ適切な管理運営と効果的な事業実施により本市の文化振興を図る。	(公財)つつのみや文化創造財団(指定管理者)	指定管理者を運営主体とした美術館の管理運営と企画展などの事業の実施	計画どおり	396,466	H9		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:様々なアート事業を通じた文化振興の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品収集方針に沿ったデザインや宇都宮市民芸術祭40周年記念美術展の企画展を展開したほか、学芸員が学校に outgoing 子どもたちにアートを体験する機会を提供するなどの教育普及事業を実施し、芸術文化の振興を図った。 <p>【②今後の取組方針:魅力ある展覧会等の実施と美術館の満足度向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員の幅広い専門知識やスキルを更に活かし、これまで収集した6,700点を超えるコレクションを活用した魅力ある常設展の開催や、過去に実施した大谷石や宮染めなど本市の資源を活かし地域や産業界と連携した館外プロジェクトの企画、自然豊かな文化の森に立地する特色を生かした事業を企画するとともに、令和4年度に開催を予定している25周年記念事業に相応しい企画や看板となる購入作品を検討していく。また、ミュージアムショップやレストランと連携した事業展開により美術館の満足度向上に取り組んでいく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の休館(令和2年4月25日～5月12日まで) ・財団受託事業、自主事業の中止または延期(子どもフェスタIn文化の森(中止)、企画展「伊藤遠平展(延期)」など) 	
美術館整備事業	IV-15	文化活動の充実		利用者に安全で快適な施設サービスを提供するとともに、美術品の適切な保護を図る。	宇都宮美術館(利用者, 美術品)	美術館の施設・設備の計画的保全や緊急対応	計画どおり	7,435	H9		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:計画的な保全整備による安全かつ快適な施設環境の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館から20年以上が経過しており、施設・設備の劣化等に伴う保全整備に計画的に取り組んだ。 <p>【②今後の取組方針:大規模改修工事に向けた取組の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に実施した「施設劣化診断及び改修手法等調査」を踏まえ、早急に対応が必要な改修箇所について、令和2年度に実施設計を速やかに行うとともに、工事に伴う休館に係る条例改正など、必要となる準備を計画的に進め、令和3年度の改修工事の円滑な実施に努める。また、令和2年度に行う箇所以外の対応と合わせて、今後の美術館が備えるべき機能についても検討していく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
美術館訪問鑑賞会事業	IV-15	文化活動の充実	戦略事業	子どもたちが質の高い芸術に親しむ機会を提供する。	市内小中学生	市有バス等を活用して美術館を訪問し、展覧会の鑑賞等を行う。	計画 どおり	159	H30		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:子どもたちが優れたアートに触れる機会の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加した児童生徒や教職員の満足度も高く、子どもたちの豊かな感性や人間力の育成に寄与した。 <p>【②今後の取組方針:参加しやすく魅力的な事業内容の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの子どもたちに優れたアートに触れる機会を提供するため、参加者の声に耳を傾け、参加しやすく魅力的な事業内容を検討するなど、新規の学校の参加促進を図る。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部開催内容の変更は検討しているが、11月及び2月の開催スケジュールに影響なし。現在、参加校の募集は終了し、6月決定通知を発送予定 	
指定文化財管理費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		所有者と連携し貴重な指定文化財等の保存を図る。	市内の指定文化財等の所有者	指定文化財等の維持管理に要する経費の一部を補助	計画 どおり	97	S31		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:計画的な維持管理による安全かつ良好な文化財の保存】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な維持管理に取り組み、国指定文化財として価値の保存を図った。 <p>【②今後の取組方針:貴重な文化財の保存・継承の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な文化財を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、文化財の適切な維持管理の取組を支援していく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
指定文化財等保存修理費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		所有者と連携し貴重な指定文化財等の保存や活用を図る。	市内の指定文化財等の所有者	指定文化財等の修理に要する経費の一部を補助	計画 どおり	3,111	S31		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:計画的な維持管理による安全かつ良好な文化財の保存】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な維持管理に取り組み、指定文化財として価値の保存を図った。 <p>【②今後の取組方針:貴重な文化財の保存・継承の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な文化財を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、文化財の適切な維持管理の取組を支援していく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
指定文化財保存活動費補助金	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		市民協働により貴重な指定文化財等の保存や活用、継承を図る。	市内の指定文化財等の保存・愛護活動団体	指定文化財の維持管理活動や伝承活動等に要する経費の一部を補助	計画 どおり	1,072	S32		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:市民主体による文化財の保存・継承の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存・愛護団体における文化財周辺の清掃・除草作業、獅子舞の練習や祭りへの参加、民俗衣装や道具の更新などの取組を通じて文化財の保存や継承を図った。 ・文化財保存・愛護団体は、高齢化等により活動が停滞傾向にあり、地域ぐるみでの活動の促進が求められる。 <p>【②今後の取組方針:市民による文化財保存活用の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会全体で歴史文化資源を将来に引き継いでいくため、令和元年度に「宇都宮市民遺産制度」を創設したところであり、今後は本補助制度と「宇都宮市民遺産制度」を両輪として、市民による文化財の保存活用を支援していく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動費補助金説明会は実施せず、文書送付で対応。 ・各団体の活動が中止となる可能性があり、適切な対応・支援が求められる。 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
文化財ボランティア支援 事業	IV-15	文化の創造・継承、保 存・活用		市民協働により貴 重な文化財の周知 啓発を図る。	宇都宮市文化財ボ ランティア協議会 市民、来訪者	文化財ボランティア養成講座 の開催、城址公園等におけ る案内活動等の実施	計画 どおり	67	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:各種事業の実施を通じた文化財の周知啓発の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財ボランティアによる宇都宮城址公園を中心とした解説案内等により、本市の歴史文化について市民や来訪者の理解促進を図った。また、養成講座や研修会等を通して、文化財ボランティアの育成や資質向上を図った。 <p>【②今後の取組方針:大谷石文化の保存・活用に向けた文化財ボランティア協議会との連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産に認定された大谷石文化のストーリーや構成文化財を市民や来訪者にわかりやすく伝えるガイドの養成に向け、文化財ボランティア協議会等と連携しながらガイド養成講座の開催などに取り組みしていく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮城址公園等で実施しているボランティアガイド活動を中止(再開未定) ・ボランティア養成講座(6月～2月予定)につきましては、開催の可否を検討中 	
文化財周知啓発事業	IV-15	文化の創造・継承、保 存・活用	戦略事業	本市の歴史文化や 文化財に対する理 解促進や認知度向 上を図る。	市民、来訪者	文化財めぐり・ウォークラ ー・普及啓発資料の作成等 の実施	計画 どおり	820	H3		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:各種事業の実施を通じた歴史文化に対する意識の高揚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに応じた文化財に触れる機会の創出や学校教育と連携して小学校版の副読本や教師用の指導書の作成に取り組み、市民や子どもたちの郷土に対する誇りや愛着の醸成を図った。 <p>【②今後の取組方針:宇都宮学の推進による郷土愛の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来を担う子どもたちが宇都宮の歴史や伝統文化など本市の良さを理解するため、郷土・宇都宮について学習する「宇都宮学」の円滑な実施に向け、令和2年度も引き続き、学校教育課と連携して中学校版の副読本等に取り組みしていく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～8月に予定していた文化財めぐりは中止。 ・9月以降のイベントについては、内容に応じて開催の可否を検討する。 	
宇都宮伝統(ふるさと)文 化継承事業	IV-15	文化の創造・継承、保 存・活用	戦略事業	市民協働により本 市に伝わる伝統文 化・芸能・食等の保 存と継承を図る。	宇都宮伝統文化連 絡協議会	伝統文化フェスティバル・宮っ 子伝統文化体験教室・伝統 文化講座・ふるさと料理講座 等の実施	計画 どおり	3,368	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:各種事業の実施を通じた歴史文化に対する意識の高揚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化連絡協議会会員が講師となり小中学校において獅子舞等の伝統芸能や黄ぶな絵付け等の伝統工芸、地域に伝わる民話等の体験機会を提供している「宮っ子伝統文化体験教室」は、子どもたちの郷土に対する誇りや愛着の醸成に大きく寄与している。 <p>【②今後の取組方針:市民主体による伝統文化の継承活動への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮伝統文化連絡協議会は本市の伝統文化を振興し、次世代に継承していくため全国に先駆け本市において立ち上げられた団体である。今後は「伝統文化フェスティバル」の実施のほか、当該団体が実施する「宮っ子伝統文化体験教室」を年30回に拡充するなど連携を強化し、伝統文化に身近に触れる機会を創出するとともに、地域における継承活動の環境づくりや人材育成への支援を図っていく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化フェスティバル(10月)について開催の可否を検討中 ・その他の講座等については、6月まで中止。今後は規模や内容に応じて開催の可否を判断する。 	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
文化遺産を活用した地域 活性化事業	IV-15	文化の創造・継承、保 存・活用	戦略事業				計画 どおり	13,830	H28		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】本市の歴史文化資源の普及啓発及び保存・活用の推進】</p> <p>・本市の歴史文化の魅力や特色を紐解くエイト・ストーリーの更なる普及啓発に向け映像資料を制作するほか、「歴史と文化財ホームページ」のリニューアルに取り組んだ。また、市民や地域で愛され・親しまれてきた歴史文化資源を、地域ぐるみで保存継承していくために「宇都宮市民遺産制度」を創設した。</p> <p>【②今後の取組方針】本市の歴史文化資源の普及啓発及び保存・活用の推進】</p> <p>・エイト・ストーリーの更なる普及啓発に向け、「歴史と文化財ホームページ」やSNSによる視覚的な情報提供のほか、VR(バーチャル・リアリティ)を用いた宇都宮城の復元に取り組み効果的な情報発信を推進する。また、「宇都宮市民遺産制度」について、制度の周知を図りながら、運用を開始していく。</p> <p>③「感染症による事業への影響」</p> <p>・影響なし</p>	
日本遺産を通じた大谷石 文化の保存・活用事業	IV-15	文化の創造・継承、保 存・活用	戦略事業				計画 どおり	21,106	H30	独自性 先駆的	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】宇都宮市大谷石文化推進協議会を核とした魅力発信事業の推進】</p> <p>・官民連携で設立した宇都宮市大谷石文化推進協議会を核として、大谷石文化の保存や活用に向け、情報発信・普及啓発・人材育成に係る様々な事業を実施した。また、大谷地域の文化的景観を将来にわたって保存するため、国の重要文化的景観選定申出に必要となる文化的景観保存計画の策定作業に取り組んだ。</p> <p>【②今後の取組方針】大谷石文化に係る市民理解の促進と認知度向上】</p> <p>・様々な機会や媒体を通じて大谷石文化の価値や魅力の情報発信や普及啓発の充実を図り、地域の活性化につなげるほか、官民連携により大谷石文化を保存活用する取組を推進するとともに、協議会が持続的に活動できる組織体制づくりに取り組んでいく。また、大谷地域の重要文化的景観選定に向け、選定申出に必要となる文化的景観保存活用計画の策定に引き続き取り組んでいく。</p> <p>③「感染症による事業への影響」</p> <p>・観光誘客(インバウンド)のためのPR活動を当面自粛</p>	
文化財調査事業	IV-15	文化の創造・継承、保 存・活用	戦略事業	・文化財保護法に基づき、開発行為に伴う埋蔵文化財の適切な保護を図る。 ・市民協働により指定文化財の適切な保護を図る。	・市内の埋蔵文化財包蔵地 ・市内の指定文化財等	・埋蔵文化財包蔵地における開発行為に伴う発掘調査等の実施 ・宇都宮市文化財調査員活動の実施	計画 どおり	2,448	S42		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】埋蔵文化財及び指定文化財の適切な保護】</p> <p>・文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地内の開発行為に対し発掘調査等を行うなど埋蔵文化財の適切な保護を図った。また、宇都宮市文化財調査員と連携し指定文化財の現況を調査・把握し、修繕を行うなど適切な保護を図った。</p> <p>【②今後の取組方針】民間事業者の法令遵守意識の高揚による埋蔵文化財の適切な保護の推進】</p> <p>・文化財保護法に基づく届出を行わず埋蔵文化財包蔵地において開発行為等を行う事業が年数件発生していることから、開発許可窓口で周知文書を備え付けるなど、民間事業者に対する法令遵守や文化財の適切な保護に対する意識高揚や指導の徹底を図っていく。</p> <p>・また、民間事業者による大規模開発が予定され、大規模な確認調査が増加することが見込まれることから、埋蔵文化財の適切な保護に努める。</p> <p>③「感染症による事業への影響」</p> <p>・文化財調査員調査(6月)に係る会議を中止とした。</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
とびやま歴史体験館活用・啓発事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	本市の歴史文化に対する理解促進を図る。	市民、来訪者	企画展・講演会の開催	計画 どおり	99	H17		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】本市の歴史文化に関する普及啓発の推進 ・毎年様々なテーマによる企画展や講演会を開催し、本市の歴史文化に対する理解促進に努めた。</p> <p>【②今後の取組方針】とびやま歴史体験館の効果的な活用に向けた検討 ・LRTの整備・開通を見据え、とびやま歴史体験館のより効果的な活用や誘客促進について検討を進めていく。</p> <p>③「感染症による事業への影響」 ・とびやま歴史体験館の休館(令和2年4月10日～5月12日まで) ・施設への入場制限を行っており、多くの参加者が見込まれる講演会等については中止となる可能性がある。</p>	
飛山城跡整備事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	飛山城跡の適切な保存と活用を図る。	飛山城跡(国指定史跡)	施設・設備の整備・維持管理	計画 どおり	3,982	S52		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】計画的な保全整備による安全かつ良好な史跡の保存 ・施設・設備の計画的な保全整備に取り組み、国指定史跡として価値の保存を図った。</p> <p>【②今後の取組方針】飛山城跡の効果的な活用に向けた検討 ・LRTの整備・開通を見据え、飛山城跡や周辺文化財の案内など効果的な活用について検討を進めるとともに、経年劣化に伴う復元建物等の計画的な保全整備を図っていく。</p> <p>③「感染症による事業への影響」 ・特になし</p>	
上神主・茂原官衙遺跡保存整備事務費	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用		上三川町と連携し上神主・茂原官衙遺跡の適切な保存と活用を図る。	上神主・茂原官衙遺跡(国指定史跡)	普及啓発事業の実施、保存のあり方の検討	計画 どおり	88	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】普及啓発の推進及び整備のあり方の検討 ・ウォーキングの開催や中学生向けパンフレットを配布するなど普及啓発を図るとともに、保存整備委員会を開催し整備のあり方の検討を行った。</p> <p>【②今後の取組方針】普及啓発の推進及び整備のあり方の検討 ・上三川町と連携しながら保存整備委員会において今後の活用方や整備のあり方等について引き続き検討を行うほか、史跡周辺のウォーキングなどの普及啓発事業を実施し認知度の向上と保存に向けた機運醸成を図っていく。</p> <p>③「感染症による事業への影響」 ・6月に予定していた史跡周辺を巡るウォーキングイベントを延期(秋以降の開催を予定)。</p>	
史跡等整備事業	IV-15	文化の創造・継承、保存・活用	戦略事業	市内の文化財や史跡、天然記念物等の適切な保存と活用を図る。	市内の文化財や史跡、天然記念物等	旧大谷公会堂(国登録有形文化財)の保存、上籠谷町大フジ(市天然記念物)の環境整備	計画 どおり	484	H20		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】計画的な保全整備による安全かつ良好な史跡等の保存 ・史跡等の計画的な保全整備に取り組み、文化財として価値の保存を図った。</p> <p>【②今後の取組方針】貴重な史跡等の保存・継承の推進 ・貴重な史跡等を将来にわたり良好な状態で引き継いでいくため、今後とも所有者や管理者と連携しながら、史跡等の適切な保全整備の取組を推進していく。 ・旧大谷公会堂の移転に向けた解体工事について、文化財の価値を適切に保存できるよう、関係課と連携を密にしながら取り組んでいく。</p> <p>③「感染症による事業への影響」 ・特になし</p>	

事業名	政策の柱 基本施策	施策名	好循環P・ 戦略事業・ SDGs	事業の目的	事業内容		事業の 進捗	R1 概算 事業費 (千円)	開始 年度	日本一 施策 事業	「①昨年度の評価(成果や課題)」と「②今後の取組方針」	見直し (予定)
					対象者・物(誰・何 に)	取組(何を)						
うつのみや百人一首市民 大会交付金	IV-15	文化の創造・継承、保 存・活用	戦略事業	本市ゆかりの百人 一首に触れ親しむ 機会の創出を通じて、郷土愛の醸成 と本市のブランド力 の向上に寄与する。	うつのみや百人一 首市民大会実行委 員会	うつのみや百人一首市民大 会の開催、蓮生記念全国競 技かるた宇都宮大会の開 催、百人一首普及啓発事業 の実施	計 画 以 上	2,372	H8	独自性 トップクラス	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:百人一首のまちとしての認知度の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民大会においては、「同時にかるた遊びをした最大人数」のギネス世界記録を達成した。(記録:701人)。また、全国大会では参加者が過去最多を更新するなど「百人一首のまち」としての認知度が高まっている。 <p>【②今後の取組方針:大会の円滑な運営及びブランド力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会参加者の増加に伴い、会場のプレックスアリーナ宇都宮において、安全かつ円滑な運営を確保するための適正な事業規模や運営スタッフの確保について検討していく。また、ギネス世界記録達成など、市内外に効果的なPRを行い「百人一首のまち」としてブランド力の更なる向上を図っていく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の開催を6月から7月に延期し、開催の判断を行う予定 ※本市が主催する「うつのみや百人一首市民大会」と関連性のある全日本からの協会が主催する競技かるた関連事業は6月まで中止 	
ジャズのまち普及事業補 助金	IV-15	文化の創造・継承、保 存・活用	戦略事業	ジャズを核とした幅 広い音楽の振興を通 じて、郷土愛の醸成 と地域の活性化に 寄与する。	うつのみやジャズ のまち委員会	ふれあい文化教室・渡辺貞 夫ライブ・まちかどピアノ・ジャ ズセミナー・学校普及ジャズ 等の実施	計 画 ど お り	1,444	H22		<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:「ジャズのまち」としてのブランド力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが本市ゆかりのジャズに親しむ機会を増やすため、教育普及事業として学校に専門講師を派遣する「ふれあい文化教室」などを実施したほか、「ジャズのまち」としてのブランド力向上に向け、新たに「渡辺貞夫ライブ」や「まちかどピアノ」を実施するなど、ジャズを核とした音楽の振興に努めた。 <p>【②今後の取組方針:教育普及事業の充実及びブランド力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「うつのみやジャズのまち委員会」や文化課と一緒に事務局を担う観光交流課との連携を強化し、音楽のあふれるまちのさらなる活性化に向け、令和元年度に試行実施し好評を博した「まちかどピアノ」の継続実施の検討など創意工夫を図りながら事業を展開していく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月までの事業は中止(渡辺貞夫ライブ、議場ジャズコンサート、ミヤ・サンセットジャズ、宮ふれあいステーションジャズなど) 	
妖精資料活用事業	IV-15	文化の創造・継承、保 存・活用	戦略事業	妖精ミュージアムを 核とした妖精資料の 普及啓発を通じ て、中心市街地の 活性化に寄与する。	市民、来館者	企画展の開催、ギャラリー トーク・読み聞かせ等の実施	計 画 ど お り	12,606	H19	独自性	<p>【①昨年度の評価(成果や課題)】:妖精ミュージアムを核とした多彩な事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今村幸治郎氏の色鉛筆画展など妖精ミュージアムの雰囲気合った個性ある企画展をはじめ多彩な事業を実施し、アンケートからも来館者の高い満足を得ている。 <p>【②今後の取組方針:親子をターゲットとした企画等の充実及び中心市街地の活性化への寄与】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアとの連携を図りながら円滑に施設運営を行うとともに、ゆうあい広場との連携強化やファミリー向けの企画など魅力的な事業を実施するほか、全国的にも稀有な妖精ミュージアムとして、SNSを活用してイベント情報を随時発信するなど、市内外への効果的なPRを行い中心市街地の活性化を図っていく。 <p>③「感染症による事業への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の休館(令和2年4月10日～5月11日まで) 毎月開催している「ギャラリートーク」や「本の読み聞かせ」は6月まで中止 	